



上小小だより

〒330-0855 さいたま市大宮区上小町 1337-1
HP <https://kamiko-e.saitama-city.ed.jp/> TEL:048-644-6251

教育目標
◎ 心豊かな子
◎ 進んで学ぶ子
◎ 健康な子



さかなのなみだ

校長 大島 恵美

雨の合間に差し込むやわらかな日差しの下、校庭では子どもたちが運動会に向けて元気いっぱい練習に励んでいます。リズムに合わせて一生懸命に踊る姿、声を掛け合いながら力を合わせて走る姿からは、それぞれの努力と成長が感じられます。いよいよ明日が本番です。子どもたちの一生懸命な姿を、どうぞ楽しみにしててください。

さて、新しいクラスの友だちとも少しずつ打ち解け、笑顔や応援の声があふれる毎日となってきました。6月は、心が少し揺れやすい時期でもありますが、子どもたちが「ここが自分の居場所だ」と安心できるような温かい環境づくりを、今後も大切にしていきたいと思います。

「さかなクン」は、ご存じの方も多いことでしょう。豊富な魚の知識と、元気いっぱいのキャラクターでお茶の間でも大人気です。現在はイラストレーターとしてだけでなく、大学の客員教授としてもご活躍されています。『さかなのなみだ』は、朝日新聞の「いじめられている君へ」に掲載された文章を再編集し、絵本として出版された作品です。さかなクンご自身の体験に基づいて書かれています。

吹奏楽部の中で突然起こった「無視」といういじめを、魚の世界に例えて物語が進みます。メジナという魚は、狭い水槽に入れると、必ず1匹を仲間外れにして攻撃してしまいます。広い海では、このようなことは起こりません。この“狭さ”は、物理的な空間に限らず、価値観や個性の自由をも見えにくくしてしまうのです。人間も同様に、狭い人間関係や自分の偏った価値観にとらわれず、もっと広い世界や多様な考え方に目を向けてみよう、という内容です。

大切な友だちができる時期、

**小さなカゴの中で誰かをいじめたり、悩んだりしても、
楽しい思い出は残りません。**

**外には楽しいことがたくさんあるのに、
もったいないですよ。**

—— さかなクンの言葉が心に残ります。

6月は、さいたま市のすべての市立学校で「いじめ撲滅強化月間」に取り組みます。この時期は、内面にストレスを抱え込みやすく、理由もなく不安になったり、落ち込んだりして、学校生活にうまく適応できない子どもたちが増える傾向があります。また、いじめの認知件数も増加する時期です。

本校では、日頃から「いじめを許さない集団づくり」「いじめが起きない学校づくり」に努めています。特に6月は、子どもたちがいじめについて真剣に考え、「いじめのない学級や学校をつくろう」とする意識を高められるよう、豊かな人間性や社会性を育む取り組みを充実させてまいります。

具体的には、いじめ撲滅に向けた学級スローガンの作成、児童会によるいじめ撲滅キャンペーンの展開、校長による講話、道徳授業の充実などを行ってまいります。こうした活動を通じて、自分も他人も大いにできる心を育てていきます。

ご家庭でも、お子様についてご心配なことやお悩み、お困りごとがございましたら、スクールカウンセラー、さわやか相談員、ソーシャルワーカー、または本校職員まで、どうぞ遠慮なくご相談ください。